

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス ごきげんテラス
放課後等デイサービス ごきげんテラスNorth

支援プログラム

作成日

2025 年 1 月 28 日

法人理念	すべては子どもたちの“ごきげん”のために		
支援方針	主体性の尊重：内発的な意思によって行動できる力、自分のごきげんを自分でつくれる力を育む 本質の追求：社会を生き抜く力の習得が療育の最終目的地、科学的根拠に基づいたアプローチと長期にわたる伴奏支援で土台を耕す 体験へのこだわり：自由な環境での多角的な体験から、豊かな心を育む		
営業時間	児童発達支援 10 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	児童発達支援 あり チャイルドシート完備
	放課後等 デイサービス 10 時 00 分から 18 時 00 分まで		放課後等 デイサービス あり ジュニアシート完備
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	(a)健康状態の維持・改善：毎日の観察・面談、個別活動から、異変察知や特性把握を実施。 (b)生活のリズムや生活習慣の形成：必要に合わせて定時での排泄誘導、昼食やおやつを利用した摂食援助等の実施。 (c)基本的な生活スキルの獲得：特性に配慮した視覚支援や環境の構造化を実施。	
	運動・感覚	(a)姿勢と運動・動作の向上：感覚統合遊びを通して周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるよう支援。 また、そのための基礎となる柔軟な体づくりのための身体調和支援。 (b)保有する感覚の総合的な活用：5感2覚が統合されるよう運動遊びや個別での課題(認知、言語、社会性等)を提供。 児童発達支援： 株式会社biimaと提携し、biima sportsを実施。 最新のスポーツ科学と幼児教育学に基づき、年間を通して7種類以上のスポーツに取り組みこめて、基礎運動能力・非認知能力・自己肯定力を育む。	
	認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得：マッチング課題、構成課題、触覚遊び等様々な課題を通して、認知機能の発達を促す。 (b)空間・時間、数などの概念形成の習得：発達段階に応じた数や時計、時間の課題を提示。具体物を使用する段階から徐々に抽象的な思考へ進める支援。 (c)対象や外部環境の適切な認知と行動の習得：スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れ、適切な行動を促す。タイムタイマー等の設置。 (a)言語の形成と活用：季節の歌、絵本の読み聞かせ。 児童発達支援/放課後等デイサービス： 慶應義塾大学とNPO法人ADDSが共同開発した発達支援アプリ“AI-PAC”による個別療育を実施。 エビデンスに基づいた、行動的・発達的な観点による5領域600項目を超える課題をベースにカリキュラムを策定。	
	言語 コミュニケーション	(a)言語の形成と活用：季節の歌、絵本の読み聞かせ等を通じて、様々な言葉に触れる機会を提供。 運動遊びの中で本人が感じている感覚を言語化して聞かせることにより、体験と言葉を結び付ける。 また、遊びを通じて自発的な要求を引き出す。 (b)言語の受容及び表出：言語に加え、絵カードや指差し、ジェスチャーなども含めた非言語コミュニケーションも活用。 より伝えたいことが伝わりやすくなるよう、語彙の拡大、文章表現の向上等を目的とした支援を実施。 (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上：基礎となる、注目・追視・動作模倣、共同注視等を促す。 児童発達支援/放課後等デイサービス： 慶應義塾大学とNPO法人ADDSが共同開発した発達支援アプリ“AI-PAC”による個別療育を実施。 エビデンスに基づいた、行動的・発達的な観点による5領域600項目を超える課題をベースにカリキュラムを策定。	
	人間関係 社会性	(a)他者との関わりの形成：安定したアタッチメント形成のために、触覚過敏への配慮や支援。 ふれあい遊びや手遊び歌、指導員や異年齢児を含めた場での自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促す。 (b)自己の理解と行動の調整：必要時に行動の振り返りを行うことで、自己理解を促す。トークンシステムの導入などで自己コントロールを促す支援。 (c)仲間づくりと集団への参加：小集団での活動を通し、ルールの理解や適切な振る舞いを学ぶ支援。外出活動等による公共の場でのルールを知る経験を積む。	
家族支援	・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育ての困りごとへの相談援助	移行支援	・進路先や移行先への相談援助や情報提供 ・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ
地域支援・地域連携	・保育園/幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、相談援助 ・相談支援事業所との連携 ・医療機関との情報連携や調整、リハビリ同行	職員の質の向上	・NPO法人ADDSの提供する初級ABAセラピスト養成研修の受講 ・NPO法人ADDSによる定期オンラインスーパーバイズ ・日本福祉大学の提供する障害児支援スペシャリスト養成講座 全15講座(計30時間)の受講 ・関連団体(社会福祉協議会等)開催の各所研修の受講 ・各種内部研修の実施
主な行事等	・季節の行事、制作 ・外出による社会体験 ・音楽リズム(月1程度) ・ダンスレッスン(週1程度)		